

# 高 嶺 同窓会だより

特別号

平成4年8月16日  
静岡県立磐田南高等学校  
同窓会  
印刷 総合印刷(株)大進堂

## 同窓の皆さまと共に

創立70周年記念事業委員長 伊藤 武  
磐田南高等学校後援会理事長

### 創立70周年記念 特別号



磐田南高校の創立70周年を同窓の皆様と共に心よりお祝い申し上げます。60周年には、念願の生活館「はぐま会館」が建設され、以来ここ10年間で県立高校の中で最も施設の整備された学校となりました。70周年を迎えるにあたり、今や時代はハードよりソフトを求めております。そこで同窓会他関係各位ともご相談申し上げ、後援会の定

款を一部変更し、ソフト面の支援も出来るようにしました。またこの間、尾崎教育基金は一億円に増額することができ、この利息運用により相当の学校の教育活動を援助する仕組が出来ました。

さて、国際交流は今や時代の要請でもあります。そこで、今回の記念事業として取り上げ、マウンテンビュー市立高校と姉妹校提携をする運びとなりました。マウンテンビュー市は磐田市と姉妹提携の関係にあって、その地域には有名なスタンフォード大学、ハイテク地帯として知られるシリコンバレーも所在しており極めて優秀な地域です。

両校の文化、伝統、語学等の交流を活発にし、21世紀に向かって羽ばたく、我が校の優秀な素質を持つ生徒諸君の勉学の幅を広めて頂きたいと思っております。尚、本件につきましては学校関係者は勿論、県教育委員会をはじめ各方面のご了解とご推薦を頂いていることを申し上げます。これまでの多大なご協力に対し感謝を申し上げます。ご挨拶と致します。



[式典での石割校長のあいさつ]

## 創立70周年 記念事業

### 記念誌刊行

70周年にふさわしく、本校にかかわる過去・現在の写真を豊富に掲載、スッキリと見やすい編集。A4版、64ページ。

### 学校紹介ビデオ作製

本校の歴史と伝統、さらに将来への夢を、35分のビデオに映像化。

### 五輪3選手の記念碑建設

オリンピック栄光のメダリスト 牧野正蔵、伊藤登、杉浦重雄3選手のレリーフ記念碑を新装のプールサイドに建設。

### 国際理解教育事業

同窓生拠出による教育基金援助

## 記念式典

- 平成4年6月27日
- 本校 体育館
- 開式の言葉 (実行委員会副委員長・PTA会長)
- 国歌斉唱
- 創立70周年記念事業実行委員会委員長挨拶
- 祝辞
- 静岡県教育長
- 静岡県高等学校校長協会会長 祝電披露 (定時制教頭)
- 来賓紹介 (全日制教頭)
- 同窓会より尾崎教育振興基金への助成金等の目録贈呈 (同窓会長より学校後援会理事長へ)
- 生徒代表のこぼは (生徒会会長)
- 校歌斉唱
- 姉妹校提携調印式閉式のことば (同窓会副会長)
- 記念講演次第
- 講師紹介 (校長)
- 講演 飯島宗一郎先生 愛知県芸術文化センター総長 元広島大学学長・元名古屋大学学長
- 演題 「新しい世界を切り開く」
- 謝辞 (校長)



# 拍手と握手



[両校の関係者が堅い握手]

[本校から贈られた記念品]

# マウンテンビュー高校と姉妹校提携

調印...感動 平成4年6月27日



[署名した提携書を掲げる石割校長とスティーブ・ホープ校長]



[マウンテンビュー高校から贈られた記念品]

協 定

静岡県立磐田南高等学校と、カリフォルニア州マウンテンビュー高等学校は、ここに姉妹校として提携することを約束し、次の通り協定する。

両高校は相互理解の精神を基盤に、相互の交流を通して、親善関係を一層緊密にし、日米両国の友好と教育・文化の発展に寄与する。

- 1 両高校の生徒、教職員ならびに保護者等の交流を通して、豊かな国際感覚と広い視野をもった人材の育成を図る。
- 2 両高校の生徒、教職員の学術文化・スポーツの交流を通して、高校教育の充実を図る。
- 3 両国の教育制度、教育内容ならびに教育方法等の意見の交換を通して、高校教育の発展を図る。

この協定は、両校の代表者による署名により効力を発するものとし、一方の高校から書面により、中止の意思表示がない限り継続する。

1992年6月27日

静岡県立磐田南高等学校長 石割 忠夫  
マウンテンビュー高等学校長 スティーブ・ホープ  
Steve Hope

Statement of Affiliation

Mountain View High School in California and Iwata Minami High School in Japan hereby promise to enter into a sister school affiliation. Our relationship is in accord with the following objectives.

To strengthen our ties of friendship and to contribute to the educational and cultural development of both high schools through cooperation in a spirit of mutual understanding and goodwill.

1. Through the exchange of staff, students and their parents, and other members of the community, a rich cultural experience shall be offered, providing the opportunity for the participants to broaden their minds and become more internationalized.
2. Through the exchange of individual staff and student expertise and sports club activities, both high schools' educational programs shall be enhanced and enriched.
3. Through the exchange of ideas relating to educational systems including curriculum content and teaching methodology, both high schools' educational programs shall be further developed.

This statement of affiliation shall become effective upon the date of signature by the representatives of the respective schools, and shall be valid unless either school expresses in writing the desire to terminate it.

June 27, 1992

Steve David Hope  
Steve Hope  
Principal of Mountain View High School

Taduo Ishiwari  
Taduo Ishiwari  
Principal of Iwata Minami High School

[姉妹提携の協定書]



[両校生徒の親善の踊りの輪]



〔両校の生徒代表のあいさつ〕

〔両校長が提携書にサイン〕



〔この日のためにマウンテンビュー高校から6名が来校〕



マウンテンビュー高校の校章

●70周年記念事業のハイライト

●アメリカ・カリフォルニア州  
Mountain View **マウンテン**



〔1800人の見守る中で調印式〕

■国際感覚の人材育成

教職員の交流も

創立70周年の記念事業のハイライト、マウンテンビュー高校（米国カリフォルニア州）との姉妹校提携の調印が、6月27日の記念式典の中で行われた。

協定書の調印は、生徒千五百人と同窓会員など三百人が見守る中、石割校長とステイー・ホープ校長によって行われた。

協定書には、▽両校の交流を通して国際感覚と広い視野を持った人材育成▽生徒・教職員の学術、文化、スポーツ交流▽教育制度、内容の意見交換を通じた高校教育の充実、などが盛り込まれており、具体的な事業は、今後両校で立案し、すすめて行くことになっている。

調印後、記念品の交換、両校生徒代表のあいさつなどが行われた。

真の国際人に：期待  
磐田市磯部教育長にお話を聞く



国際化の時代です。ね。南高、磐田市というだけでなく高校教育という事から考えても、とても重要な事だと思います。交流の中から相手方には日本の文化、日本人の考え方を知らずとも、南高生には受験勉強としての語学勉強に留まらないで、アメリカの歴史、風俗、考え方、人生観等の一端にふれてね、人間としての視野を広め、国際化社会

の中で活躍できる人間に成長して下さるよう期待したいです。

南高生はプライドも持っていると思うし、優秀です。しかし、最近の高校生、南高生を見ていて、教育長として、先輩として残念にも、嘆かわしく思う事も少なくありません。見守り時代には、すべての面で「見守り中学校の生徒をみる」と言われたものです。「注入された知識は世の中に出て何

の役にも立たない。自ら経験した知識こそ真の力だ。」という尾崎先生の全人格的教育を目的とする労働教育によって、養成された校風が生徒を育てたのです。

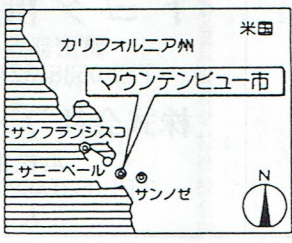
マウンテンビュー高校の生徒は、自らバイトで捻出した費用を基にこちらへ来るそうです。交流を通して改めて自分達の文化、生活習慣を考え、教養を深め、七十周年記念を回顧と展望と発展の機会にして下さい。

マウンテンビュー高校紹介

マウンテンビュー高校とは、シリコンバレーの中心部に位置するマウンテンビュー市、人口65,000の地域社会にある3つの高等学校の一角で、州教育委員会からの資金援助を受けるいわゆる公立高校です。

4年制総合学校で在籍生徒数1,185。学業の優秀さをとりわけ重視する一方で、様々な能力を持つ生徒を求めます。また少数民族の入学率は35.5%。多方面且つ高度の教育を施すハイレベルの学校との評価を得ています。学習している教科は数学、理科、社会、英語、外国語の他、商業、コンピュータ、美術、家庭、工芸、演劇等であり、1日7時間の授業、その他就職、進学計画等のカウンセリング指導、各種スポーツ活動、生徒会、その他課外活動も盛んです。

・マウンテンビュー高校の位置



マウンテンビュー高校のあるカリフォルニア州マウンテンビュー市は、磐田市と十数年來の姉妹都市。両市友好協会の手によって、夏休みを利用しての交換学生制度が長く続けられており、個人的には両校生徒の交流は深められていた。



### やはり人間 教育は大切

第7代会長  
石川 博敏

私が会長だった昭和41年から51年の10年間には、校舎が改築され、学校が大きく変貌した時期でした。栗山を処分してハグマ会

館を作ったり、プールの改築に至る大事業は、伊藤武(17回卒)さんらの尽力があつて初めてできた事で、同窓会員個々の力を充分蓄

え必要に応じて發揮して貰えるようにと切望します。尾崎、小田原コンビの労作教育、即ち人間教育を柱としていたのが、知育に重きを置かれるようになったのは、時代の趨勢だろうが、どんな状況でも、へこたれない人材を作る伝統を長く伝えてほしい。その為には校長、教頭はじめ、先生方に腰を落ち着けていた

役員もずっと先を見越した人選をし、みんなせめて5、6年やってもらおうとい

甲種予科練習生、少年飛行兵として志願して、入隊した者も多かった。勉強と共に運動も盛んに行われ柔、

行され、ご同慶に堪えません。母校と共に皆様方末永く御発展を、ご期待申し上げて

の実に3分の1は、母校に在ったことになりました。17年間同窓会の事務関係を担当させて頂きました

### いまや県下

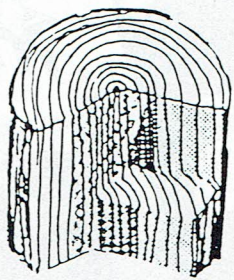
### 屈指の進学校

前会長  
村上俊郎



大正十一年四月に開校したが、校地があるだけで、校舎はない。中泉農学校を借用し、生徒は旧見付学校で勉強した。校舎が落成して移転した。そして職員生徒の勤労作業が始まった。運動場をつくり、防風堤、プールをつくった。これが見付中学校の最初の姿である。

このような教育環境の中で勉強も進み、すばらしい成績を挙げた。昭和に入つて、農場及び温室、庭園を増設した。これが初代校長尾崎楠馬先生の教育哲学である。ここから校訓、質実剛健、真剣至誠、文武両道が生まれ、建学の精神として、現在に生き続けているのである。昭和も十年代に入ると、戦時色が濃くなり、学校でも軍事教練や、神社参拝が行われた。この頃から、陸士、海兵を始め



### 70周年におも

道、剣道、水泳、陸上、サッカー等、名選手を生んだ。水泳に於いては世界選手まで生まれた。これらが見付中学校当時の姿です。

この建学の精神を受けついで昭和二十年以降、学制改革に伴い、磐田南高校が誕生した。校舎も新築、校地の拡張、定時制課程の編成、後援会組織の確立、生徒の道場である「はぐま会館」の完成と進展。歴代の

校長を始め、職員生徒が一体となつての勉学はすばらしく、県下屈指の進学校として名声を上げるに至っています。頼もしい限りであります。



### 母校の発展を期待して

中二回  
鷹野 拓法

平成三年春まで、母校に17年間も勤めさせて頂き、見中の生徒時代を併せますと、22年間、見中・南高とあの校庭校舎に通つたことになりま

私に於いては、歴史の重みを感じ乍ら七〇周年記念式典が盛大に挙

本年は七〇周年記念式典や記念事業等盛り沢山の行事がありましたが、私の方は定年退職してしまい、お手伝いも出来ず申し訳なく思っています。小生の現状ですが、退職後は寺務や境内の掃除をして、のんびりと過ごしたい

### 母校『創立70周年記念誌』、『学校紹介ビデオ』の作製報告及び今後の購入案内

このたび「創立70周年記念誌」並びに「学校紹介ビデオ」が完成し、6月27日の記念式典の行われた当日、記念誌の配布、ビデオの披露放映を行いました。記念誌とビデオの作製に当たっては、同窓会から多大の御協力・御援助を戴き、誠にありがとうございました。お蔭で、記念誌、ビデオともに好評です。見付中学・磐田南高の歴史と伝統を語る資料として、このような形で残すことが出来たのも、偏に皆様の御協力によるものと、感謝申し上げる次第です。

記念誌あるいはビデオを、その後、購入したいという御希望もありますので、それぞれ下記のように、購入の便宜をお図りします。ただし、「記念誌」と「卒業生座談会」は、残部のある限りということにさせて戴きますので、ご希望の方は早めにお買い求め下さい。

《 静岡県立磐田南高等学校 創立70周年記念誌・学校紹介ビデオ作製委員 鈴木義男 (高8回) 》

#### 『創立70周年記念誌』

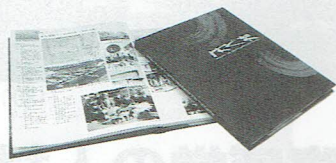
創立以来70年の歩みを写真で綴り、沿革・校史に関する事項を年度ごとに載せ、見中(6名)・南高(9名)の卒業生にお集り戴き、卒業生座談会を行って掲載しました。

#### 『卒業生座談会』

記念誌に載せた座談会の、省略部分なしの別冊刊行本で、回想談に直接関係のある写真80枚を載せました。

残部が100部余りあります。購入希望の方は、南高事務室の窓口でお買い求め下さい。

創立70周年記念誌 3,500円 卒業生座談会 800円  
〔※郵送希望の方には、郵送用箱の残りがある限り(40箱位)、お送りします。電話で申し込んで下さい。電話 0538-32-7286(磐田南高校)。代金・包装料・郵送料の送金は学校の指示に従って下さい。〕



「創立70周年記念誌」



「卒業生座談会」

#### 『学校紹介ビデオ』(「青春は永遠に」)

学校紹介ビデオの作製においては、特に、草創期にこの学び舎を巣立った先輩の方々が、健在であるうちに往事を回想し、体験を思い出して語られる一齣なども収め、また、現在の磐田南高の教育活動や生徒の日常生活の実際を収録したものを作ろうということで、平成2年12月から作製に取り掛かりました。

この度のビデオ作製は、同窓会の全面的なご協力・ご援助を得て、行われました。幸い好評で、是非入手したいという方が多いので、再度頒布することに致しましたが、頒布は今回限りにさせて戴きます。

購入希望の方は、郵便振替で、送金をして下さい(振替用紙は、各郵便局の備え付けのものを使用、振込料金は送金者負担でお願いします)。

口座番号;名古屋7-21486  
加入者名;見中・南高ビデオ頒布会  
通信欄記入事項;郵便番号・住所・氏名・卒業年次(高8などのように)  
代金;4,000円(郵送料とも)  
申込期限;平成4年9月10日  
(以後は口座を閉鎖します)  
申込ビデオ発送予定;10月下旬  
(※この頒布活動は、卒業生の購入の便宜の為にのみ行うものです)



「学校紹介ビデオ」  
(「青春は永遠に」)

土木建築請負業  
**株式会社 山内組**  
高23回卒 山内 茂夫  
〒438 静岡県磐田市中泉2039  
TEL<0538>32-2031  
FAX<0538>37-5452

良いタネ・良い花・良い暮らし  
**東小島屋**  
高23回卒 八木 峯雄  
磐田市田町1328 TEL32-4641

“人にやさしい” “環境にやさしい”  
**トヨタ開発株式会社**  
磐田郡豊田町源平新田5  
TEL0538(32)9171 FAX(35)5055  
**株式会社 アーバンヒルズ**  
浜松市大蒲町86-10  
TEL053(462)8101 FAX(462)7710  
大橋 芳隆